

2010 年度 教員採用試験に係る大学推薦 学内募集要項

(京都府公立学校 京都市立を除く 教員採用選考試験における大学推薦特別選考)

2009 年 4 月 21 日

教職教学運営委員会

京都府教育委員会より本学に対して、平成 22 年度教員採用試験の第 1 次試験を免除する者を決定する特別選考に係る大学推薦の依頼がありました。この大学推薦による京都府公立学校教員採用試験の受験者について、以下のとおり、学内での選考を行います。

- | | | |
|---------|-------------------|-------|
| 1. 募集人数 | 小学校教員を対象とした選考 | 2 名以内 |
| | 中学校(理科)教員を対象とした選考 | 2 名以内 |
| | 中学校(数学)教員を対象とした選考 | 2 名以内 |

2. 応募資格

次の要件を全て満たすもの

- (1) 本学の学部または大学院に在籍している者で、平成 22 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 応募する校種・教科の教諭一種(または専修)免許状を有するか、平成 22 年 4 月 1 日までに取得見込がある者
- (3) 昭和 35 年 4 月 2 日以降に出生した者
- (4) 京都府が求める教員像にふさわしい資質と能力を備え、京都府公立学校(京都市立を除く)教員を第一希望とし、以下の点について誓約できる者
自らの進路選択において、京都府公立学校(京都市立を除く)教員を第一志望とすること
本学学内選考に合格し、立命館大学長からの推薦を受けたうえで、京都府公立学校教員採用試験に最終合格した際には、他の都道府県や政令指定都市、私立学校等の教員採用試験に合格していても、即時に全て辞退し、必ず京都府公立学校(京都市立を除く)教員になること
- (5) 公立学校教員としての適正を有し、健康かつ学業成績優秀の者。
次に掲げる実績等を有し、その経験等が児童生徒への教育効果の面で期待できる者が望ましい。
 - (ア) 学校等において教員の補助(教科活動、特別活動、委員会、クラブ活動等)を行うなど、児童生徒の教育指導に関わった実績が通算 12 週以上ある者
 - (イ) 専門分野において優れた研究実績を有する者又は指導方法の工夫改善(教科教育法、教材開発等)に優れた実績を持つ者
 - (ウ) スポーツ・芸術・文化活動において顕著な実績を有する者

例)スポーツ分野：全国レベルの大会において優秀な成績を収めた者

芸術分野：全国レベルのコンクール、展覧会等において優秀な成績を収めた者

(工) その他多様な経験を有する者

例) 海外留学、ボランティア活動

(6) 京都府内どこにでも勤務できる者

(7) 地方公務員法第 16 条(欠格条項)、学校教育法第 9 条(欠格事由)及び教育職員免許法第 5 条(授与)第 1 項ただし書きの各号に該当しない者

3. 出願方法

次の提出書類を、2009 年 5 月 1 日(金)17 時まで、教職教育課(衣笠 至徳館 1 階)または BKC 教職支援センター(ユニオンスクエア 1 階)に、持参・提出してください。

(1) 2010 年度 教員採用試験に係る大学推薦応募票・誓約書(自筆)

(2) 成績証明書(学内の証明書発行機で自動発行される)

(3) 小学校教員を希望する場合は、小学校免許状取得状況調査票

(4) 1200 字程度の小論文((京都府教育委員会所定の様式 自筆)

(テーマ)

今年度から、いよいよ新しい学習指導要領が実施されることとなりますが、新学習指導要領が目指す確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図るために、あなたはどのような取り組みを進めていくべきと考えていますか。

また、これと連動して家庭や地域社会とどのように連携を図っていくべきと考えていますか。

4. 選考方法

第一次選考(書類) 提出書類となっている課題作文内容と、成績(GPA・取得単位数・教職関連科目成績)を総合的に選考する。

第二次選考(面接) 第一次選考での結果と、面接の中で教員としての適正や実際の試験での対応能力を総合的に勘案する。

面接日

・ 小学校教員を希望する者については、

5 月 11 日(月)、12 日(火)または 14 日(木) 衣笠キャンパスで実施する

・ 中学校(理科または数学)教員を希望する者については、

5 月 11 日(月)、13 日(水)または 15 日(金) びわこ・さつキャンパスで実施する

面接時間・場所は、教職教学運営委員会事務局(教職教育課)から、電話で、一次試験合格者に対してのみ伝える。

5. 選考結果発表

5 月 15 日(金)に、合格者に対して、教職教学運営委員会事務局(教職教育課)から電話で伝え

る。京都府教育委員会への出願書類提出は、大学が取りまとめて行う。

応募書類は返却しない。

合格者は、以下の書類を5月19日(火)17時までに、教職教育課(衣笠 至徳館1階)またはBKC教職支援センター(ユニオンスクエア1階)に、持参・提出してください。

- (1) 志願書(京都府教育委員会所定の様式)
- (2) プレゼンテーションシート(京都府教育委員会所定の様式)
- (3) チェックリスト・整理カード(京都府教育委員会所定の様式)
- (4) 郵便はがき

6. その他

京都府公立学校教員採用に係る情報は、各自、次のホームページから入手すること

(<http://kyoto-be.convi.ne.jp/nc3/>)

被推薦者が、他校種・他教科について重ねて申し込むことはできない。重複申し込みを行ったときには、いずれの受験申し込みも無効とする。

この推薦選考にもれた者であっても、希望する者は一般の京都府公立学校教員採用選考試験は受験できる。ただし、この場合には第1次試験免除の適用はない。

以 上

あなた自身について、以下の項目で自己アピールしてください。

心身の健康と豊かな人間性	
専門的力量	
実践力と多様な経験	<p>右より、該当する項目に印をつけ、以下に具体的に記入</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校等において教員の補助を行うなど、児童生徒の教育指導に関わった実績が通算12週以上ある者 2. 専門分野において優れた研究実績を有する者又は指導方法の工夫改善(教科教育法、教材開発等)に優れた実績を持つ者 3. スポーツ・芸術・文化活動において顕著な実績を有する者 4. その他多様な経験を有する者
責任感・熱意	
協調性・計画力	
学業に関する事項（卒業論文など）	
その他	

誓 約 書

立命館大学

学長 川口 清史 殿

学生証番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名

印

私は、本件大学推薦応募にあたって、以下の事項について誓約します。

1. 私は、自らの進路選択において、京都府公立学校(京都市立を除く)教員を第一志望とすることを誓います。
2. 私が本件学内選考に合格し、立命館大学長からの推薦を受けたうえで、京都府公立学校教員採用試験に最終合格した際には、他の都道府県や政令指定都市、私立学校等の教員採用試験に合格していても、即時に全て辞退し、必ず京都府公立学校(京都市立を除く)教員になることを誓います。

以 上

小学校免許状取得状況調査表

1. 小学校教諭免許状取得プログラム（聖徳大学方式）履修者は、以下の表に、自分の履修状況を記入して下さい。

区分	開講科目	履修方法	通信科目履修状況	面接(スクーリング)科目履修状況
教科	国語	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	書写・書道	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	数学	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	理科	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	社会	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	生活	選択必修	/	2 単位取得 済・未 評価 ()
	家庭	選択必修	/	2 単位取得 済・未 評価 ()
	図画工作	選択必修	/	2 単位取得 済・未 評価 ()
	教科に関する科目	小計	通信科目取得単位 小計 () 単位	面接科目取得単位 小計 () 単位
教職	教育課程論	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	国語科教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	社会科教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	算数科教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	理科教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	生活科教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	家庭科教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	音楽科教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	図画工作教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	体育科教育法	必修	1 単位取得 済・未 評価 ()	1 単位取得 済・未 評価 ()
	道德教育の研究	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	特別活動	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	教育方法学	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	生徒指導	選択必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	相談・援助の心理学	選択必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	事前・事後指導	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	現場教育実習	必修	2 単位取得 済・未 評価 ()	/
	教職に関する科目	小計	通信科目取得単位 小計 () 単位	面接科目取得単位 小計 () 単位
総 計		総取得単位数 () 単位		

2. 小学校教員資格認定試験合格者の方は、以下について、記入してください。

- ・合格年度 () 2008 年度 () 2007 年度以前 該当に
- ・1 種免許状への単位取得状況 () 大学にて、2008 年度末現在で () 単位履修済みであり、2009 年度末には、必要単位を履修見込みである。